

2026 年 8 月 24 日

住友商事株式会社

旭化成株式会社

ENEOS 株式会社

JFE スチール株式会社

三菱ガス化学株式会社

三菱ケミカル株式会社

JOGMEC と「先進的 CCS 事業」に係る業務委託契約を締結

～水島コンビナートにおいて、国内最大規模の CCS 拠点形成を目指す～

住友商事株式会社、旭化成株式会社、ENEOS 株式会社、JFE スチール株式会社、三菱ガス化学株式会社、三菱ケミカル株式会社（以下「6 社」）は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（以下「JOGMEC」）が実施する「先進的 CCS（注 1）事業船舶輸送案件に係る分離回収・液化・一時貯蔵・出荷設備の設計作業等」の委託調査業務（以下「本プロジェクト」）に関する公募において、岡山県倉敷市水島エリアを対象とする「水島クラスター」として選定され、JOGMEC と業務委託契約を締結しました。

本プロジェクトは、船舶輸送型 CCS 事業において、クラスター形成による CO₂ の液化・一時貯蔵・出荷設備の共用化によるコスト低減を促進するため、JOGMEC が令和 8 年度から新たに実施した公募に基づくものです。

水島には、鉄鋼、化学、自動車、エネルギー等の多様な産業が集積する日本有数のコンビナートがあります。コンビナート内には、電化や再生可能エネルギーの導入だけでは脱炭素化が難しい複数の大規模 CO₂ 排出源が立地していることから、CCS はコンビナートの GX 実現に向けた重要な手段の一つとなっています（注 2）。

6 社は、CO₂ 排出源が近接するコンビナートの特性を活かし、分離回収された CO₂ の液化・一時貯蔵・出荷設備を共同利用する CCS バリューチェーンの構築に向けた設計・事業性検討を進めます。これにより、設備の共同利用によるコスト低減を図るとともに、個社単位ではなくコンビナート全体で脱炭素化を進めるモデルの構築を目指します。

水島クラスターから出荷される液化 CO₂ 量は年間 343 万トンと想定しています。これは国内で検討が進む他地域のクラスターと比較して最大規模の出荷量であり、日本における CCS の社会実装を牽引する重要な拠点となることが期待されています。

6 社は、本プロジェクトを通じて、産業集積の強みを活かした CCS 事業モデルの構築に向けた検討を進めるとともに、水島コンビナートの GX 実現に向けた基盤づくりに貢献していきます。

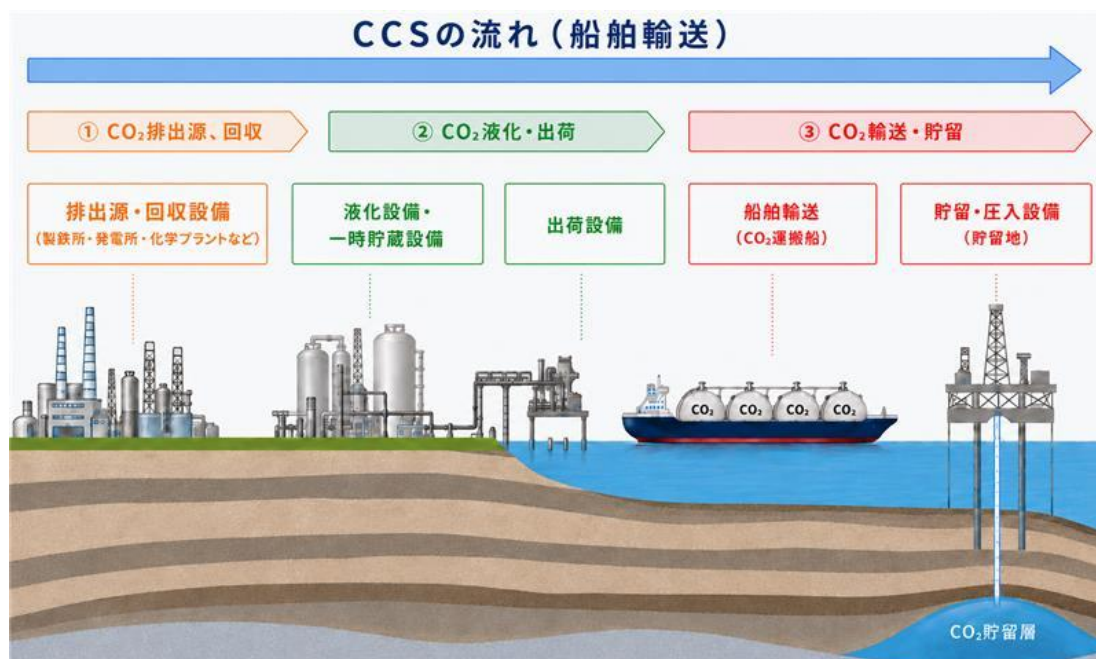
（注 1）Carbon dioxide Capture and Storage の略称。産業活動などから排出される CO₂ を回収・貯留すること。

(注2) 岡山県では、水島コンビナートを中心に、経済成長と脱炭素化を同時に実現させる GX の取組を進めており、CCS はその実現に向けた重要な手段の一つとして位置づけられている。

<本プロジェクトの概要>

対象地域	岡山県倉敷市水島エリア
液化 CO ₂ 想定出荷量（出荷開始時の想定）	343 万トン／年
参画企業	住友商事株式会社、旭化成株式会社、 ENEOS 株式会社、JFE スチール株式会社、 三菱ガス化学株式会社、三菱ケミカル株式会社

<CCS の流れ> ※本プロジェクトの調査対象範囲は①・②です



<本件に関するお問い合わせ先>

住友商事株式会社 広報部

E-mail : scpr@sumitomocorp.com

旭化成株式会社

TEL : 03-6699-3000

ENEOS 株式会社 広報部 メディアリレーショングループ

E-mail : pr@eneos.com

JFE スチール株式会社 総務部広報室

TEL : 03 (3597) 3845

三菱ガス化学株式会社 総務人事部広報グループ

TEL : 03-3283-5040

三菱ケミカル株式会社 コーポレートコミュニケーション部 メディアリレーシヨングループ

TEL : 03-6748-7140